

NX-C3000 通話録音サーバー



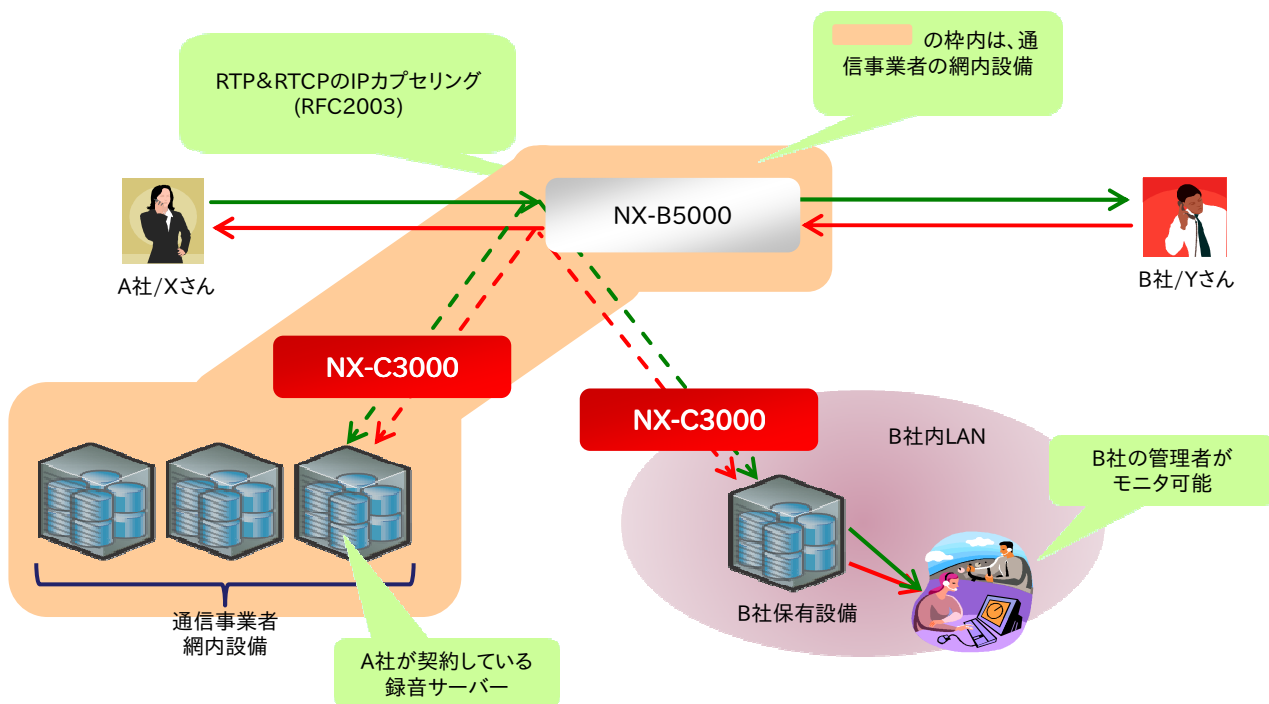
概要

ビジネスコンプライアンスの強化や情報漏洩対策が求められている昨今、金融機関やコールセンターなどでは、企業活動に於けるトラブル防止策の確立や、トラブル発生時に過去の企業活動の証跡が辿れること等が重要視されています。ネクストジェンNX-C3000は、通話を任意のデータセンターに集約して録音するIPネットワーク型通話録音システムです。VoIPの他に、PSTN、携帯電話、PHSなど、接続形態を問わずに通話を録音しますので、通信事業者やASPのINサーバーの一つとして配備していただくことも可能です。

NX-C3000は、通話録音システム導入の簡便化を図り、お客満足度の向上をご支援いたします。

録音の仕組み

NX-C3000は、単にL2スイッチのミラーポートを監視してタッピングして全てのRTPを収集する方式ではなく、NX-B5000によって録音対象に指定された呼のRTPのみIPカプセルリング*1して、録音サーバーへ送信する方式を採用しています。



そのため、NX-C3000と録音サーバーは、必ずしも通信事業者網内に設置する必要は無く、データセンターや顧客サイトに設置することも可能です。また、顧客毎に物理的に録音サーバーを分けることで、より強固なセキュリティを実現することができます。

*1 RFC2003準拠

特長

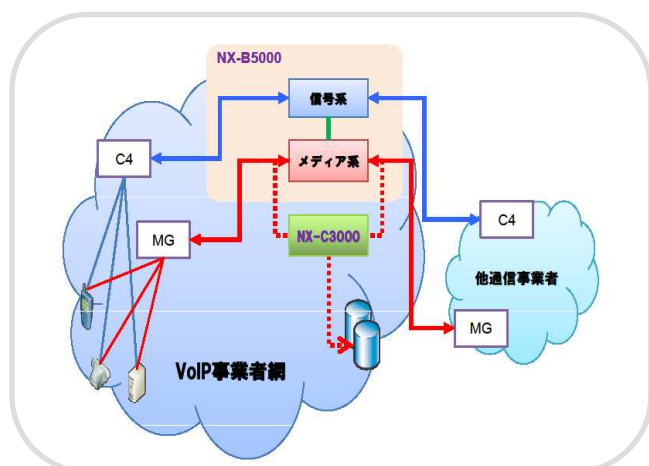
スケーラビリティ	1システムで最大10,000ch*2接続可能。 お客様のご要望に対して適切なシステムサイズをご提案いたします。
高信頼性	NX-C3000の制御用データ以外の通話データは、エンタープライズ毎に分散収容することが可能です。
マルチテナント機能	通信事業者様やxSP様にてNX-C3000を用いた通話録音機能を提供する場合、複数の企業ユーザー様を収容することが可能です。また、データベースサーバーのロケーションに関しては、NX-C3000とIP reachableであれば、どこでも対応可能です。
高可用性	Active/Standbyによるシステム二重化により、冗長構成にて運用が可能です。 99.999%のシステム稼働率を実現することで、キャリアグレードにも対応可能です。

*2 構成により異なります

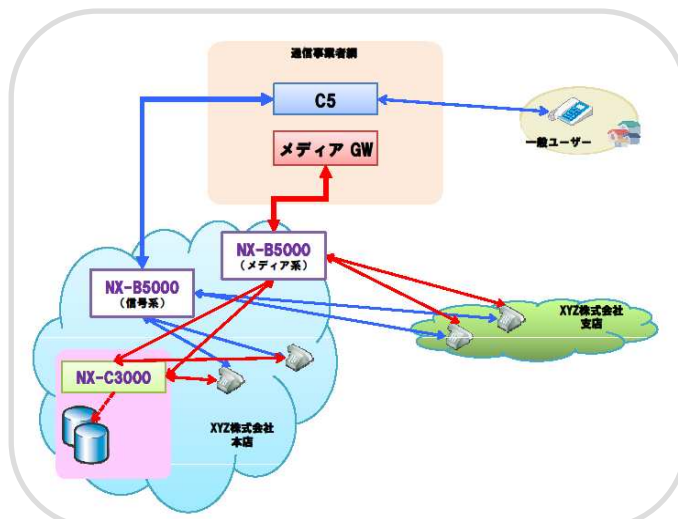
■ NX-C3000と一般的な通話録音システムの比較

比較項目	NX-C3000	一般的な通話録音システム
物理構成 (PSTN)	○ 通信事業者網内に配備。	△ 通話録音システムをPBXのMDF/DDFに直接パッチケーブルで接続する。録音したいチャンネル分、通話録音システムが必要。
物理構成 (VoIP)	○ 通話録音システムと外部NW間のL2スイッチの間。	○ 通話録音システムと外部NW間のL2スイッチのミラーポートに接続する。
ターゲット	◎ 通信事業者 エンタープライズ	○ エンタープライズのみ
対応チャンネル数	○ 数百～約10,000チャンネルまで可能。	△ 数百チャンネル程度。
高可用性	○ Active/Standby	× なし
マルチテナント	○ 1通信事業者にてマルチテナントへ通話録音サービスを提供可能。	× エンタープライズ毎に通話録音システムを保有。
顧客情報の保護	◎ 録音サーバーを分離することで独立性を確保。	○ システム毎にデータサーバーを構築。

■ ネットワーク構成例と導入事例



通信事業者網内にNX-C3000を配備したケース



エンタープライズ内LANにNX-C3000を配備したケース

■ NX-C3000 動作条件

ご利用状況により、下記条件は変動する場合がございます。

NX-C3000 ※汎用IAサーバにて動作可	
OS	Red Hat Enterprise Linux 5 server
CPU	クアッドコア インテル Xeonプロセッサ X5460 3.16GHz
メモリ	4GB～
HDD	72GB～(録音データ保存期間に依る)
冗長	Active / Standby
その他	NX-C3000を導入の際は、別途NX-B5000が必須となります

株式会社 ネクストジェン
 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-4
 TEL.03-3234-6855(代表)
 URL : <http://www.nextgen.co.jp>
 Email : sales@nextgen.co.jp

NEXTGEN
 connect to the next generation